

# 災害時ボランティア通訳研修

南海トラフ巨大地震は今後30年以内の発生率が非常に高く、いつ私たちが災害に見舞われてもおかしくない状況です。また、地震以外にも、昨年7月に甚大な被害を残した西日本豪雨などの自然災害が多発しています。今後、ますます増えていくとみられる外国人を災害弱者にしないために、災害時の外国人支援について支援する側の心構えなどを学んでみませんか。

## 日時

平成31年2月24日（日） 13:00～16:30

## 場所

公益財団法人 徳島県国際交流協会

## 参加費

無料

## 対象者

徳島県国際交流協会語学ボランティア及び外国人支援に興味がある方

## 講演、ワークショップ

- |  |             |
|--|-------------|
| 内容 1) 災害時の外国人支援について、<br>支援する側の心構えと平常時の準備 | 13:30～14:50 |
| 2) 通訳・翻訳の実践                              | 15:00～16:20 |

## 講師

丹下 厚史 氏

公益財団法人名古屋国際センター 交流協力課長

1984年の名古屋国際センター開設以来、「地域における多文化共生の促進」及び「地球市民としての意識の醸成と活動の促進」に携わる。現在は、防災担当として名古屋市「災害語学ボランティア制度」に運営に加え、「外国人住民への防災・減災の啓発事業」にも取り組んでいる。

本研修では、災害時ボランティア通訳研修の講演、ワークショップに先立ち、当協会の国際理解支援派遣講師 マイラ イリヤス氏から、昨年9月に発生した北海道胆振東部地震で被災された時の体験話していただきます。災害時に外国人へどのような支援が必要であるか、一緒に考えてみませんか。

13:05～13:30 国際理解支援講師：マイラ イリヤス 氏

中国新疆ウイグル自治区出身、6年前に来日し、神戸大学医学部を経て、現在徳島大学医学部大学院4年生として日々研究に励んでいる。出身地の伝統舞踊が得意、阿波おどりも本格的に練習し、当協会の阿波おどり連「あそわ連」の先頭で活躍。



※「まなびーあ徳島」生活環境学部3単位取得できます。



# 申込用紙

氏名	
住所	
電話番号	
E-mail	
言語(英語、中国語等)	

※2月20日（水）までに上記の事項をご記入の上、  
郵送、Fax、またはE-mailにてお申し込みください。

## お申し込み・お問い合わせ

〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61 クレメントプラザ6階  
公益財団法人 徳島県国際交流協会  
「災害時ボランティア通訳研修」担当宛て  
Tel: (088)656-3303 Fax: (088)652-0616  
E-mail: coordinator1@topia.ne.jp